

第 315 回薬事委員会報告

日 時 令和8年 4月 1日 (水) 15:00～15:30

場 所 病院会議室 A

出席者 堀、高松、川浪、大治、今福、津川、戸川、栗山、諸藤、兼重、池内

欠席者 三宅、小松

議 事

I. 新規採用医薬品

	適否	製品名	削除医薬品
1	適	パドセブ点滴静注用 30mg	スーテントカプセル12.5mg
2	適	リプロファズ配合皮下注	ライブリバント点滴静注 350mg
3	適	ワイキャンズ外用液 0.71%	へパリン類似物質外用泡状スプレー0.3%「日本臓器」

削除医薬品が先発品の場合は、削除決定後自動的に院外専用医薬品となる（一般名処方薬がある場合は除く）

II. 後発医薬品（GE）への切替

	適否	AG/BS	製品名	削除医薬品
1	適	－	リュープロレリン酢酸塩注射用キット 1.88mg「NP」	リュープロレリン酢酸塩注射用キット1.88mg「あすか」
2	適	－	リュープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75mg「NP」	リュープロレリン酢酸塩注射用キット 3.75mg「あすか」
3	適	－	リュープロレリン酢酸塩 SR 注射用キット 11.25mg「NP」	リュープリン SR 注射用キット 11.25mg
4	適	AG	プラスグレル錠 2.5mg「DSEP」	エフィエント錠 2.5mg
5	適	AG	プラスグレル錠 3.75mg「DSEP」	エフィエント錠 3.75mg
6	適	AG	プラスグレル OD 錠 20mg「DSEP」	エフィエント OD 錠 20mg
7	適		イマチニブ錠 100mg「オーハラ」	グリベック錠 100mg
8	保留	BS	トシリズマブ BS 点滴静注 200mg「CT」	アクテムラ点滴静注用 200mg
9	適	AG	アフリベルセプト BS 硝子体内注射用キット 40mg/mL「バイエル」	アフリベルセプト BS 硝子体内注射用キット 40mg/mL「NIT」

※アフリベルセプト BS「バイエル」はバイオ AG 製剤であり、「NIT」と比較して適応症に糖尿病黄斑浮腫が含まれることから、本剤への変更予定である。なお、血管新生緑内障および未熟児網膜症の適応は未取得のため、これらの適応については先発品（アイリーア）の採用を継続する。

※トシリズマブ BS は、化学療法委員会での再検討となる。

III. 試薬・製剤原料等

該当なし

IV. 新規院内特殊製剤

該当なし

V. 臨時購入医薬品（院内専用 患者限定）

新規購入品目（令和 8 年 1 月 10 日～令和 8 年 3 月 6 日）

	製品名	申請科	申請理由
1	エジュラント錠 25mg	感染制御部	HIV 感染症
2	ボカブリア錠 30mg	感染制御部	HIV 感染症
3	ボカブリア水懸筋注 600mg	感染制御部	HIV 感染症
4	リカムビス水懸筋注 900mg	感染制御部	HIV 感染症
5	アノーロエリプタ 30 吸入用	呼吸器内科	慢性閉塞性肺疾患
6	タフィンラーカプセル 50mg	耳鼻咽喉・頭頸部外科	甲状腺未分化癌 BRAF V600E(+)
7	メキニスト錠 0.5mg	耳鼻咽喉・頭頸部外科	甲状腺未分化癌 BRAF V600E(+)
8	レットヴィモ錠 40mg	腫瘍・血液・感染症内科	RET 融合遺伝子陽性の進行・再発の固形腫瘍

9	スキリージ皮下注 180mg オートドージャー	消化器内科	潰瘍性大腸炎
10	クラシエ苓桂朮甘湯エキス細粒	小児科	体位性頻脈症候群
11	タンボコール錠 50mg	小児科	房室回帰性頻拍
12	ウプトラビ錠 0.2mg	腎泌尿器外科	肺高血圧症
13	ニューベクオ錠 300mg	腎泌尿器外科	転移性前立腺癌
14	コンサータ錠 27mg	精神神経科	ADHD
15	シグニフォーLAR 筋注用キット 10mg	内分泌・糖尿病内科	Cushing 病
16	ノボリン N 注フレックスペン	内分泌・糖尿病内科	ステロイド糖尿病
17	エタネルセプト BS 皮下注 25mg ペン 0.5mL 「MA」	脳神経外科	関節リウマチ
18	ソラナックス 0.4mg 錠	脳神経外科	うつ病
19	アイマービー点滴静注 300mg,1200mg	脳神経内科	重症筋無力症 (MuSK 抗体陽性)
20	スピナラザ髄注 28mg,50mg	脳神経内科	脊髄性筋萎縮症 III 型
21	ハイゼントラ 20%皮下注 2g/10mL シリンジ	脳神経内科	慢性炎症性脱髄性多発神経炎

VI. 院外専用医薬品（令和8年3月6日時点）

アダリムマブBS皮下注20m シリンジ0.2mL「CTNK」	オキナゾールクリーム 1%	ジクアス LX 点眼液 3%
スピジア点鼻液 5mg	スピジア点鼻液 7.5mg	スピジア点鼻液 10mg
ヒフデュラ配合皮下注シリンジ	マグミット錠 100mg	ラパリムス顆粒 0.2%

VII. 販売名変更
 該当なし

VIII. 販売中止
 〈販売中止とそれに伴う切替採用申請〉

	販売中止となる採用薬	販売中止予定時期	切替採用薬
1	パロキセチン錠 5mg 「DSEP」	2026 年 3 月	パロキセチン錠 5mg 「明治」
2	ルプラック錠 4mg	2026 年 3 月	トラミセド OD 錠 4mg 「TE」
3	イーフェンバッカル錠 50 μ g/100 μ g	2026 年 11 月 (在庫消尽予定時期)	オブソ内用液 5mg/10mg
4	ネルボン散 1%	2026 年 3 月 (経過措置期限)	ベンザリン細粒 1%

IX. 供給遅延・供給停止等のお知らせ
 〈供給遅延・供給停止等とそれに伴う切替採用申請〉

	供給遅延・供給停止となる採用薬	一般名	薬効	切替採用薬
1	ケフラールカプセル 250mg	セファクロル	セフェム系抗生物質	-
2	ビタシミン注射液 500mg	アスコルビン酸注射液	ビタミン C 製剤	アスコルビン酸注 500mg 「NP」
3	インスリン リスプロ BS ソロスター HU 「サノフィ」	インスリン リスプロ	抗糖尿病薬	インスリン アスパルト BS 注ソロスターNR 「サノフィ」

X. 副作用報告
 2026 年 1 月～2 月の副作用報告件数は 16 件であり、そのうち非重篤なものは 11 件、重篤なものは 5 件（下記記載）であった。

副作用発現日	年齢	性別	被疑薬	症状	転帰	報告者	PMDA 副作用報告
2025/12/12	83	女性	イミフィンジ点滴静注 500mg/10mL/瓶 テセントリク点滴静注 1200mg/20mL/瓶 イジユド点滴静注 300mg/1mL/瓶	水疱性類天疱瘡	軽快	薬剤師	有
2025/12/29	81	男性	フォシーガ錠 5mg	尿路感染症・腎盂腎炎	軽快	薬剤師	有
2026/1/6	52	男性	トラスツズマブ BS 点滴静注用 150mg 「NK」	薬剤性間質性肝炎	軽快	薬剤師	有
2026/1/18	84	男性	セレネース注 5mg	頻脈性心房細動	軽快	薬剤師	有
2026/1/26	77	女性	強力ネオミノファーゲンシー静注シリ ンジ 40mL/筒	低カリウム血症	軽快	薬剤師	有

※医療用語では明確な定義はないが、広辞苑によれば回復は健康状態に戻ることを、軽快は病気が少しよくなることを意味する。

XI. 同種同効薬：採用医薬品の適正化

イコサペント酸エチル粒状カプセル 900mg は削除とする。院内ではエバデール EM カプセルを採用しており、1 日 1 回製剤であることからアドヒアランスの向上が期待される。
※エバデール EM は「閉塞性動脈硬化症に伴う潰瘍、疼痛及び冷感の改善」の適応を有していないが、高脂血症を併発している為、高脂血症の適応にて処方可能である。

XII. その他

1. 1. 使用量低頻度医薬品の院内削除について
該当なし

2. 適応外・禁忌医薬品使用に係る申請（2026 年 1 月～2 月、計 33 件）

		申請科	薬品名	使用目的	倫理委員会審議の 必要性
1～27	適応外	心臓血管外科	バンコマイシン塩酸塩点滴静注用 0.5g	縦隔炎予防のため閉胸時にペー スト状にして塗布	なし(薬事委員会)
28	適応外	整形外科	リファンピシンカプセル 150 mg	右化膿性関節炎・股関節	なし(薬事委員会)
29	適応外	整形外科	リファンピシンカプセル 150 mg	化膿性骨髄炎、MRSA 感染症	なし(薬事委員会)
30～31	適応外	消化器外科	オクトレオチド酢酸塩皮下注 100 μg	術後リンパ漏	なし(薬事委員会)
32	適応外	消化器外科	イオパミロン注 300	胃癌術後腹腔内膿瘍	なし(薬事委員会)
33	適応外	眼科	バンコマイシン塩酸塩点眼液 2.5%	MRSA 角膜炎・結膜炎・涙のう 炎	なし(薬事委員会)

3. 薬事ニュース No. 116 （資料1）

4. 後発医薬品使用体制加算について

2022 年 4 月以降の後発医薬品の割合は 90%以上、カットオフ値 50%以上である。
後発医薬品使用体制加算 1（47 点➡87 点：入院期間中 1 回に限り、入院初日に算定）の取得継続が可能となった。
今後も、現状を維持すべく後発医薬品の使用を推進していく。

	12 月	1 月	2 月
全医薬品の規格単位数量 ①	693, 938	648, 741	697, 590
後発医薬品あり先発医薬品及び後発医薬品の規格単位数量 ②	295, 363	277, 860	258, 738
後発医薬品の規格単位数量 ③	280, 649	265, 374	246, 098
カットオフ値の割合 ②／①	54. 3%※1	53. 9%※1	53. 6%※1
後発医薬品の割合 ③／②	95. 2%	95. 6%	95. 2%

※1 令和 7 年度薬価改定を踏まえた診療報酬上の臨時的な取扱いでの数値

5. バイオ後続品使用体制加算について

令和 6 年度診療報酬で新設され、(1)直近 1 年間の使用回数が 100 回以上かつ、(2)≥80%、(3)≥50%でバイオ後続品使用体制加算（バイオ医薬品を使用する患者について入院初日に 100 点）の取得が可能となった。(1)については、年間使用回数が 100 回以上であることを確認した。

	置き換え割合 80%以上	置き換え割合 50%以上
バイオ医薬品の内、バイオ後続品の 規格単位数量の合計 ①	1, 559	6, 915
バイオ医薬品の規格単位数量の合計 ②	1, 566	8, 527
① /②	(1) 99. 6%	(2) 81. 1%
	(イ) エボエチン (ロ) リツキシマブ (ハ) トラスツズマブ (ニ) テリパラチド	(イ) ソマトロピン (ロ) インフリキシマブ (ハ) エタネルセプト (二) アガルシダーゼベータ (ホ) ベバシズマブ (ヘ) インスリンリスプロ (ト) インスリンアスパルト (チ) アダリムマブ (リ) ラニビズマブ

6. 院内廃棄薬について

2025 年 11 月と 12 月における院内廃棄薬の総金額は、150, 950 円であった。上位品目は、フルミスト点鼻液（45, 000 円）、ロイナーゼ注用 5000（29, 100 円）、ブコラム口腔用液 2. 5mg（11, 821 円）であった。廃棄理由はすべて期限切れであった。

7. その他

- 2026 年 1 月 19 日現在の総採用品目数は 2, 538 品目であり、うち後発医薬品は 548 品目（21. 6%）である。
- 新型コロナウイルス感染症の抗ウイルス薬が出来高算定から DPC 算定へ移行する方針となっており、院内感染対策委員会にて運用について検討予定である。
- ※ベクルリーに関しては、出来高算定の可能性あり、現在調査中である。

次回薬事委員会は、令和 8 年 6 月 3 日（水）15 時より病院会議室 A で行う。